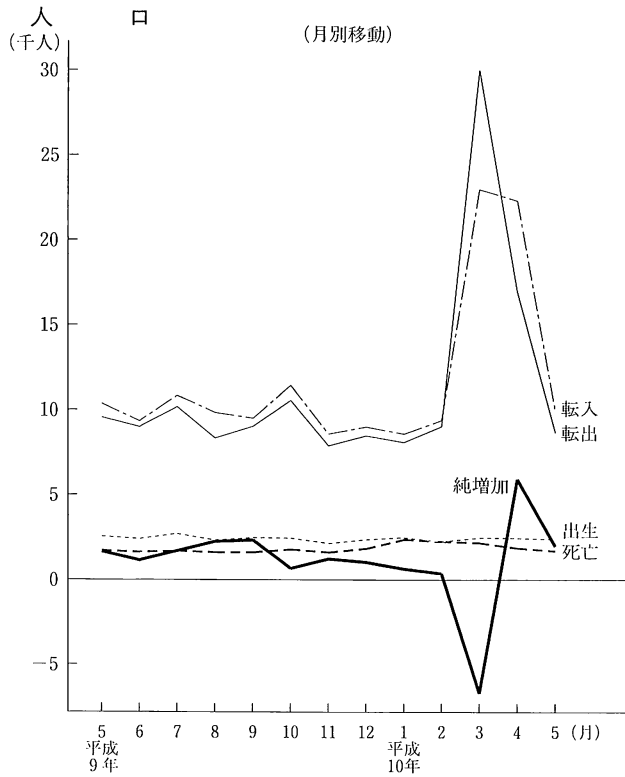
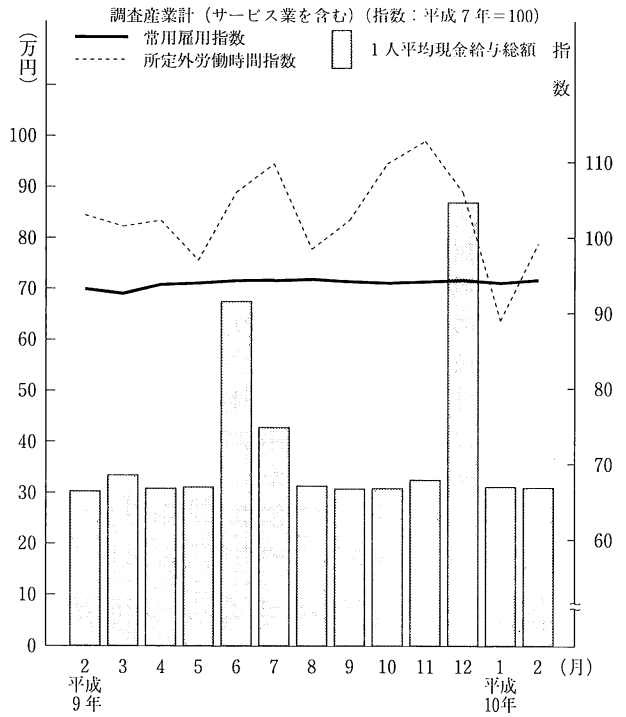


# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



### ■人口 (10年6月1日)

#### 5月の概況

本県の人口は、5月中に1,966人増加し、6月1日現在で2,987,540人(男1,491,708人,女1,495,832人)となった。

内訳は、自然動態で695人(出生2,394人,死亡1,699人)増加し、社会動態で1,271人(転入9,919人,転出8,648人)増加した。前年同月と比べると12,419人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が15市35町村,減少が5市27町村,増減なしが3町である。

世帯数についても5月中に1,899世帯増加し967,688世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用 (10年2月)

#### 1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で309,083円,対前年同月比2.3%増,このうち,きまって支給する給与は307,218円,対前年同月比2.2%増であった。特別に支払われた給与は,1,865円であった。

#### 2. 労働時間

2月の総実労働時間は、調査産業計で157.0時間,対前年同月比1.5%減であった。このうち,所定内労働時間は143.8時間,対前年同月比1.3%減,所定外労働時間は13.2時間,対前年同月比3.7%減であった。

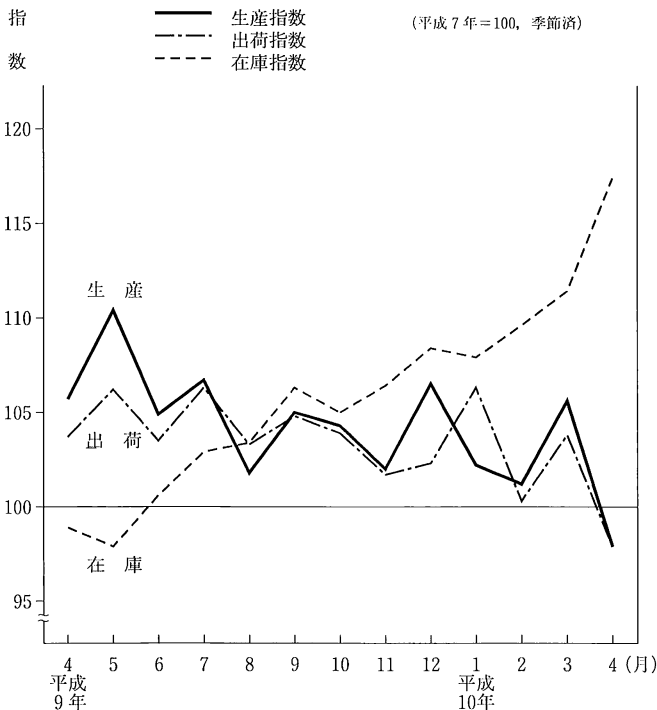
#### 3. 雇用の動き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比2.1%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

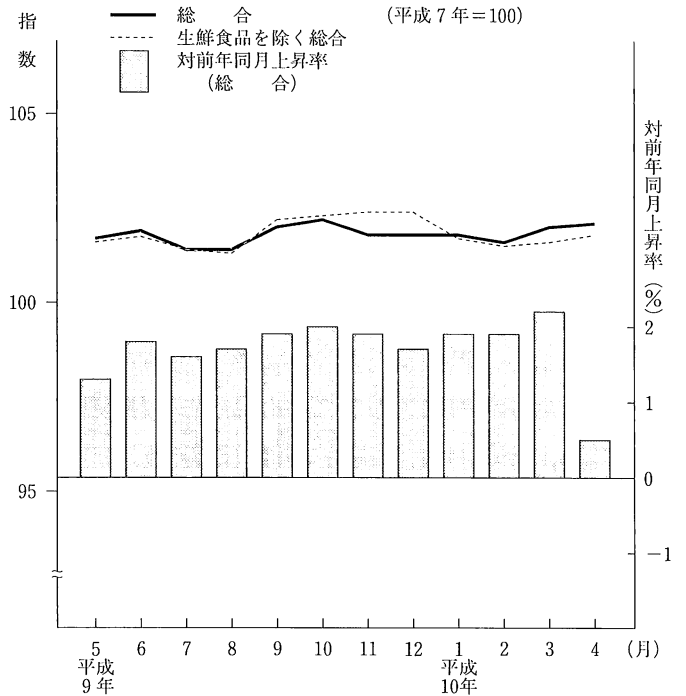


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年4月）

本県における平成10年4月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が97.9、出荷97.9、在庫が117.4で、前月比は、生産が7.3%の低下、出荷が5.7%の低下、在庫が5.4%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が7.3%の低下、出荷が5.6%の低下、在庫が18.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、その他工業、金属製品工業が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、鉱業等が低下した。出荷では、繊維工業、プラスチック製品工業、金属製品工業等が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が上昇し、繊維工業、窯業・土石製品工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、資本財、耐久消費財等すべての財で低下した。出荷では、資本財、耐久消費財等すべての財で低下した。在庫では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、建設財、その他用生産財が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年4月）

平成10年4月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.1（平成7年＝100）となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.5%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……生鮮野菜2.6%、授業料等1.4%、シャツ・セーター類15.3%

今月の下がった主な項目……乳卵類1.4%、生鮮果物7.9%、教養娯楽サービス1.7%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比0.3%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年＝100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.1	0.1	0.5	保 健 医 療	112.4	△0.3	9.8
食 料	103.0	△0.3	0.8	交 通 通 信	98.7	△0.1	△1.1
住 居	102.1	0.0	△0.1	教 育	107.4	1.0	1.0
光熱・水道	102.5	△0.1	△0.2	教 養 娯 楽	98.9	△1.2	0.5
家具・家事用品	96.2	△0.4	△1.1	諸 雑 費	101.2	0.0	0.4
被服及び履物	105.6	4.6	0.3	生鮮食品を除く総合	101.8	0.2	0.3